

【平成 27 年 4 月から平成 28 年 3 月までに外科で麻酔をかけて乳腺、消化管手術を受けた患者さん、ご家族の皆さんへ】

当研究の対象者として該当される方にお知らせ致します。対象とされることを希望されない場合や疑問点などがありましたら、お手数ですが下記連絡先までご連絡ください。

【研究タイトル】

全身麻酔下^{*1}に乳腺・腹部外科手術^{*2}を施行された症例における胸部画像異常所見合併頻度^{*3}および術後の呼吸器系合併症^{*4}の関連性の検討

- *1: 全身麻酔下(ぜんしんますいか)とは、手術のときに痛みを感じないように麻酔科の医師によるお薬の投与を行い、眠っていただくことです。
- *2: 乳腺・腹部外科手術(にゅうせん・ふくぶげかしゅじゅつ)とは、乳房やお腹の手術を行うことです。
- *3: 胸部画像異常所見合併頻度(きょうぶがぞういじょうしょけんがっぺいひんど)とは、肺や胸のレントゲン写真を撮影した際に、異常が見つかった頻度のことです。
- *4: 呼吸器系合併症(こきゅうきけいがっぺいしょう)とは、手術後に肺や気管支の病気を発症することです。

【研究背景・目的】

外科手術前には、病変を詳しく調べるために CT を撮影することが多く、その中には肺の画像が含まれています。外科手術を受けると、慢性閉塞性肺疾患 (COPD) や、間質性肺炎がある患者さんは、急激に肺の状態が悪化することがあり、これを急性増悪(きゅうせいぞうあく)と呼びます。これまで、乳腺や消化管の手術を受けた患者さんにおける、COPD や間質性肺炎を合併している頻度や、その急性増悪の頻度は明らかになっていません。

そこで、今回私たちは、外科の診療の上で撮影された CT 画像から、呼吸器疾患を疑う画像所見の頻度、ならびに手術による COPD や間質性肺炎の急性増悪の頻度の頻度を検討したいと考えています。

【研究期間・取得情報】

- ・研究期間は、平成30年4月17日から平成31年3月31日までです。
- ・対象：平成27年4月1日から平成29年3月31日までに外科で麻酔をかけて乳腺、消化管手術を受けた患者さん
- ・取得情報：診療記録より、年齢、性別、喫煙歴、基礎疾患、手術を行った疾患と進行度、肺機能、一般採血データ、術後30日間における呼吸器系合併症（抜管困難、ARDS、COPDの増悪、術後肺炎、間質性肺炎の急性増悪、術後死亡）の頻度、Clavien-Dindo分類に基づいた合併症の有無。

【個人情報の取扱い】

研究の際の個人情報の取り扱いは、研究責任者により厳重に管理され、外部への研究発表の際には患者さん個人を特定する情報は含まないようにして行います。

研究の対象となることを望まない旨の申し出があった場合には、ただちに研究対象から除外します。なお、匿名化（データの識別のために個人を特定できる情報を番号・記号等に置き換えること）を行った後の患者さんの情報については、研究から除外できない場合もありますのでご了承下さい。

【診療記録(カルテ)等の開示について】

当院は、研究に使用しました患者さんの診療記録等について、患者さんが開示を求められた場合には、遅滞なく内容を確認し、当院の「患者情報の提供等に関する指針」に従って対応いたします。当院の診療記録等に関してのご質問や患者さんの個人情報のお問い合わせは、下記、「問い合わせ先」にてお受けいたします。

- ・診療記録を複写・印刷する場合の料金：枚数×20円＋消費税

【研究組織】

研究責任者：飯塚病院 呼吸器内科 飛野 和則

【問い合わせ先】

飯塚病院 呼吸器内科 神 幸希
〒820-8505 福岡県飯塚市芳雄町3-83
TEL：0948-22-3800（代表）